

目標達成シナリオ小委員会と国内制度小委員会との連携関係 及び検討の流れ

京都議定書の目標達成に向け、**2010年時点における対策の在り方**を検討する。
(それ以降の2020年を展望した対策の在り方については、別の機関で検討)

(1) 現行施策のレビュー (各分野毎)

| 目標達成シナリオ小委員会 | 国内制度小委員会 | |
|--|--|--------------------------------------|
| シナリオ検討会 1998年までの排出量増減の要因分析 2010年の排出量予測 | | 大綱の評価： ↓ 現行施策の問題点・改善点の洗い出し |
| 対策技術の定量的評価 | | |
| | 大綱に基づく施策の進捗状況の評価及び各施策の定性的評価 (確実性の度合い等) | |

(2) 今後の対策の大枠案について (各分野毎)

| 目標達成シナリオ小委員会 | 国内制度小委員会 | |
|--|---|---|
| シナリオ検討会 導入可能な対策技術のリストアップ 上記対策技術に基づく削減ポテンシャルの積み上げ (ある程度制約条件を捨象) | 地球温暖化防止対策の在り方の検討に係る小委員会 ポリシーミックスによる政策パッケージを提示 基盤メカニズムに必要な情報の流れの提示 | |
| | 現行施策の問題点・改善点 (制度論からのアプローチ) | 個別の制度的対応案 (各論的提案) 各部門における横断的な制度案 |
| 各技術についてのコスト・ポテンシャル評価 | | |
| 上記有望技術に係る制度的・社会的制約条件の整理 | | |
| 当該制約条件を乗り越えるための政策手法メニューの提案 (技術論からのアプローチ) | | |
| | 諸外国における制度のレビュー (比較論からのアプローチ) | |